

タケノコ料理を食べて被災地出身の若者の支援につ

被災地出身の若者 タケノコ味わう

鎌倉で支援イベント



タケノコ料理に笑みがこぼれる北田さん（左）

鎌倉市福祉センター

なげる催しが27日、鎌倉市御成町の市福祉センターで開かれた。岩手県大槌町出身の大学生北田亜衣さん（19）を囲み、春の味覚を堪能した。

能した。

建長寺や浄智寺、市内の住民が持ち寄ったタケノコを素材に、地元で料理教室を開く男性らが腕を振るい、シューマイや煮物などの料理がずらりと並んだ。

約190人の参加費の一部が、一般財団法人教育支援グローバル基金運営の「BEYOND Tomorrow（ビヨンドトゥモロー）」を通じて被災地出身の若者の奨学金などになる。

帝京大学医療技術学部2年の北田さんも支援を受ける1人。津波で祖父を亡くし、実家が全壊したという。料理を口にすると笑顔になり、感謝の言葉とともに「看護師として地元を支えたい」と決意を話した。

（遠藤 綾乃）